命を守るために
防災ガイドマップの使い方

▲豊浦町防災ガイドマップ

令和3年7月、北海道は、「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル」に基づき、太平洋沿岸で「最大クラスの津波」が発生した場合に想定される津波高、浸水域などを公表しました。

豊浦町では、この新しい津波浸水想定を基にした津波情報のほか、土砂災害の想定や各種防災情報なども示した、「豊浦町防災ガイドマップ」を令和４年３月に作成し、町民の皆さんに配布しました。

もしものときに少しでも被害を軽減するために、想定される災害と被害を知り、ご家族と一緒に対策を考え、実際にできることから取り組みましょう。

また、津波や土砂災害の他にも台風や大雨といった各種災害の発生時には、自治体からの指示やラジオなどを利用して正確な情報の収集を心がけましょう。

ＳＴＥＰ１ 自宅の災害リスクを知る

防災ガイドマップで自宅の位置を確認し、凡例を参考に、

◆地震時には津波の影響を受けるおそれがあるか

◆土砂災害（特別）警戒区域に含まれていないか

などを確認しましょう。

ＳＴＥＰ２ 避難の方法を検討する

災害の状況やご自身の置かれた状況によって、命を守るための避難行動は異なります。

◆津波…海岸から離れ、できるだけ早く、高いところへ逃げる。

繰り返し襲ってくるので、警報・注意報解除までは気をゆるめない。

◆土砂災害…防災ガイドマップの土砂災害避難経路を参考にして、土石流に対して直角に逃げる。

ＳＴＥＰ３ 避難場所を確認する

最寄りの避難所を確認し、津波発生時には津波避難所へ向かうなど、災害ごとにどの避難所に向かうべきか検討しましょう。

実際に避難経路を歩いて、いざというときにスムーズに避難できるようにしましょう。

防災メモを作成しましょう

防災ガイドマップ裏表紙には、もしものときに備えて、大切な人の連絡先や避難先などを書き込める「わが家の防災メモ」や、非常持出品・備蓄品のチェック項目がありますので、ぜひご活用ください。

問 地方創生推進室 交通防災係 ☎83-1417